

リレー記事 No.83

## 身近な物でらくらくお掃除

お掃除を季節の良い春や秋に少しづつしておきませんか？できれば、身近にあって環境にもやさしい物で簡単にお掃除できればいいですね。重曹やクエン酸以外の、まだまだ使えるお掃除方法を調べました。

### 壁

手あかや埃で思った以上に汚れています。

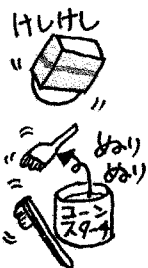


【手あか】

食パンの白い部分を丸めて軽くこすります。

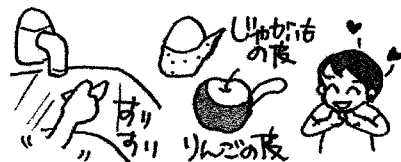
【クロス汚れ】

プラスチック消しゴムで円を描くように。それでも落ちない時には、水で溶いたコーンスターチを刷毛で塗り、乾いたら歯ブラシで軽くこすります。まず埃を落としてから、汚れの目立つ箇所に試してみてください。



### シンク

ジャガイモの皮の内側でこすり、水をさっとかけます。



ジャガイモの皮に含まれる、「サポニン」は、界面活性剤のように水と油の両方に溶ける性質を持ち、汚れを包み込んで落とす働きがあります。風呂場の鏡磨きやガラスの曇り止めにも効果があります。また、リンゴの皮の内側も「アミノ酸」の働きで同じように汚れを落とせます。

### 畳

たたみにタバコの灰を落とした時は、粗塩をまき歯ブラシで汚れを叩いた後、掃除機をかけます。

塩には殺菌効果と研磨効果があるので、普段のたたみ掃除にも粗塩をまいて掃き掃除をしましょう。

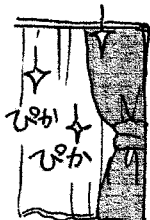


### カーテン

梅雨が明けたら、カーテンを洗いませんか？

レースなら軽いので、脱水後そのままフックに掛けて乾かしても大丈夫です。

お天気の良い日にお洗濯しましょう。



薬剤を使わなくてもきれいになり、排水や健康の面でも安心です。コツは、気がついた時に少しづつ。ぜひ、試してみてください。

参考：三井不動産みんなの住まい

<http://archives.37sumai.com/life/tenko/2012/03/12031301.html>

日本アールエムイー <http://www.sumai-data.jp/webdir/28.html>

ミサワホームオーナーズクラブ

《Yっち》

## 認定NPO法人制度の目指すところ



前号でエコけんが福岡県初の仮認定NPO法人になったことはお伝えしました。私たちはもちろんのこと、所轄庁である福岡県の職員さんに、たくさんの時間と労力をかけていただいて、エコけんは、「3年間の期限付き認定NPO法人相当」になったわけですが、この新しい制度にはいったい何が期待されているのでしょうか。

そもそもNPO法人は、社会課題の解決のために活動を行い、収益分配を目的にしない団体です。社会情勢の変化とともに、社会課題が多様化かつ複雑化している中、様々な主体が力を出し合う『新しい公共』『共助社会』の必要性が説かれているのは、多くの方の知るところとなりました。NPO法人は、その担い手として期待されているわけですが、ではそのための資金はどこに期待されているのでしょうか。その答えは「志の寄付」です。それをうながすために、所轄庁が団体の存在や活動が社会から寄付などの幅広い支援や支持を受けるに値すると認定を出すことで、寄付者に選択の安心感を提供できます。さらに寄付者への減税特典を設けることで負担感を低減できます。それをもって、寄付文化の定着を図りNPO活動の進展、ひいては社会課題の解決を図ろうとしていると思われます。

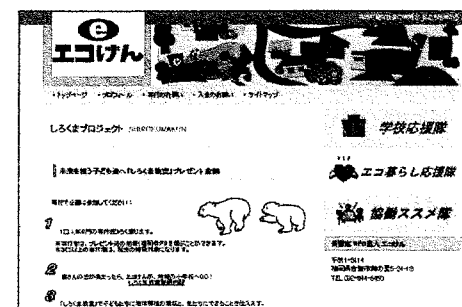
また、この制度には、次の利点もあります。私たちが納めた税金の使い先は、行政セクターに委ねるのが常道です。ところが、(仮認定を含む)認定NPO法人等への、2,000円を超える寄付は、寄付者自身が税金の使い先を決めることとなります。そのからくりは次の通りです。

寄付者に所得税・住民税還付という形で2,000円を超えた寄付額の半額が戻る。(\*1)  
寄付収入には課税されないの、寄付を受けた側に寄付全額が渡る。

→還付された税額分、寄付者は納めるべき税金の使い先を自身で決めた！

私たちに、社会への意志表示のひとつとして選挙投票があります。今回の制度改正は、投票としての寄付、そして投資としての寄付という新たな文化の素地が、制度として整ったと言えるでしょう。

さて、このように考えると、私たちエコけんは、果たして皆さんの信託に耐えるような存在でいられるのだろうか、身が引き締まります。仮ではあっても認定いただいた以上、まずは、あちらこちらに広報活動を開始したいと思います。私たちの声かけに出会った時には温かく話を聞いてください。どうぞよろしくお願いいたします。

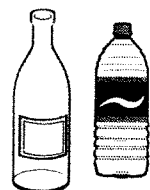


今、ホームページ上でも呼びかけています

★具体的プロジェクトについては、次号になってしまいました。HPにはアップしていますので良かったらのぞいてみてください。

(\*1) 内容は個人寄付の場合です。概要はお答えできますが、場合によって異なりますので詳しくは税務署にお尋ねください。

## ペットボトル分別工場見学でびっくり!



福岡市の家庭ごみは、「燃えるごみ」「燃えないごみ」「ペットボトル・空きびん（以下ペット・びん）」「粗大ごみ」の4分別です。福岡市で分別回収が始まるに当たり、びんのクッション材になるとの考えから、ペットボトルとびんを同じ分別袋で出すことになったそうです。分別袋は、「燃えるごみ」「燃えないごみ（缶や電池、ガラスなど）」が大袋45円、「粗大ごみ」は、種類・大きさで300円～1000円です。「ペット・びん」は大袋22円と、分別を進めるため安く設定しており、この安さゆえか困ったこともあるようです。

先日、福岡市西区の「ペット・びん」の中間処理工場、「株式会社 環境開発」に見学に行きました。ここでは、ペットボトルとびんを分別し、ペットボトルは圧縮梱包、びんは、「透明」「茶」「緑」「その他」の色に分ける作業をされています。



コンベアーを流れるごちゃまぜの分別袋

びっくりしました。搬入物が、とんでもなくきたないんです。どうみても資源ではなく、ごみです。いろいろなものが一緒に入ってる袋がたくさん見受けられます。ペットボトルの中身が入ったままだったり。びんの中にはジャムやらっきょ。おしめや家電が同梱されているものもあります。機械で袋を破った後、女性職員さんが手作業で不適物を取り除いています。工場はオートメーションをうたっていますが、細かいところは、やはり手作業です。においがかなりきつく、古賀清掃工場を見慣れている私は、とてもショックでした。

古賀清掃工場に運び込まれる分別品は、出す時に目の前に人がいます。地域コミュニティの当番の方であったり、シルバー人材センターの方であったり。（福岡市は夜間、家の前に出します。）それが、きちんと分別をすることの重しになっているのでしょうか。分別収集が始まったころは、めんどくさいシステムと思いましたが、慣れてしまえばあたりまえになり、ごみへの意識も変わってきました。きれいにすることで「ごみ」ではなく「資源」という意識も芽生えるようです。福岡市は大都市であり、比べること自体無理がありますが、考えさせられました。

私にできることといえば、「もっとたくさんの方に分別の大切さを伝えること」。微力ですが、現状を伝えていきたいと思いました。

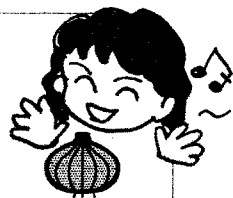
《ひらっち》

## ほっとカフェ ~ 災い転じて 福となす!? ~



今年は、よくばって玉ねぎを畑一杯に植えて収穫を楽しみにしました。ところが収穫前に夏野菜を植える時期になり、小玉のうちに収穫するはめに。娘達からは、小さくて皮向きが面倒との不満。ところがどっこい、私はせっせと皮をむき、甘酢に漬け、おまけにゆずジュースを混ぜると風味良く好評です。らっきょう漬けより簡単でおススメです。

《Kまま》



## 未来を創るインタビュー

No.26 小寺油脂(株)社長

原田 典元 氏

古賀食品工業団地にある小寺油脂さんで、社長の原田典元氏にお話しをうかがってきました。小寺油脂さんは、ぐりんぐりん古賀の会員さんであり、これまでも快く夏の学習プラン作成ワークショップに参加くださったり、環境体験講座で工場見学をひきうけてくださいました。この夏は、エコけんが受託した福岡県3R推進事業「夏休み親子3R探検隊」への工場見学のご協力も頂く予定になっています。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

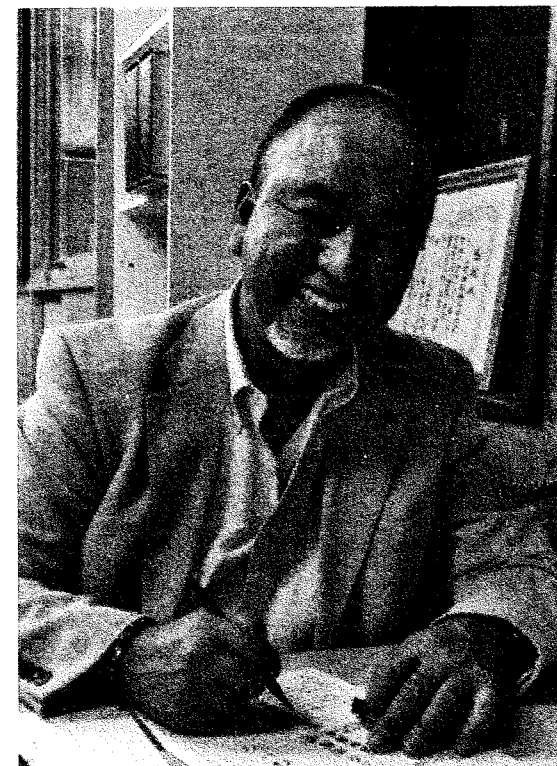
A. モラルの向上とそのための教育

Q. そのために

ご自身で心がけておられることは

A. 生活に身近なごみの処理は特に伝えやすいことだと思う。

自分の子どもには、自分が出したごみは自宅に持ち帰るよう言い聞かせている。



### 未来を創るメッセージ

#### めんどくさがらない

まず、何が最も重要かに至るお考えについて、じっくりお話しくさしました。廃油のリサイクルを業とされている事業者さんとして、人類が環境資源や生態系サービスを利用せざるを得ないこと、いったん便利に慣れたヒトが不便に戻るには大きな抵抗感が否めないこと、新しい技術開発やそれを利活用する法的・制度的整備や、自らがコスト負担する覚悟が必要なことなどなど、それらのつながりを含めて思いを語ってくださいました。その結果、「今重要なのは教育だろう」とおっしゃったのです。持続可能な社会の担い手づくりを目指す環境教育をミッションとする私たちには、心強いエールでもありました。また日々の暮らしでは、めんどくさがらないことが、未来を創る秘訣であり、その実践者でもおられました。

《S》



今回のぼらんず

※ぼらんずとは、毎月のボランティア活動です。お気軽にご参加をお待ちしています。

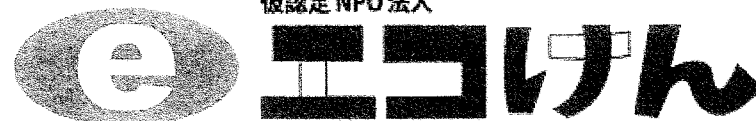
6月7日(金)

15:00~1時間程度

エコの森周辺



仮認定 NPO 法人



〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13

[TEL/FAX] 092-944-6450 [mail] eco\_ecoken@ybb.ne.jp

[HP] http://www.10.ocn.ne.jp/~ecoken